



いずみのひろば

2018年12月号
日本基督教団 聖い心
No. 481 教会学校

「重い皮膚病を患っている10人の癒し」

ルカによる福音書 11章 11～19節

今日の聖書に出てきた人たちは、ツアラトという重い皮膚の病気で悩んでいました。その病気がかかると、笑切が家族と離れ離れで暮らさなければなりません。仲の良い友達とも会うことはできません。このままどうなってしまおうだろうか？死ぬまで一生このままなのかな？不安で悲しい気持ちを抱えながら、同じ病気の人たち10人で暮らしていました。

ある時、10人はイエス様の噂を聞きました。イエス様に身体を触ってもらったら、一瞬で病気が治った人もいます。そしてなんとそのイエス様が、この近くを通りかかるといいます。これは病気を治してもらおうチャンスです。10人はイエス様をやつてくると大声で呼びました。「イエス様隣れんでください！」

10人は噂で聞いていたように、イエス様が直接身体に触れてくださって、すぐに病気を治してくれると期待していました。でもイエス様は、そうはなさいません。ただ「祭司の所へ行つて、身体を見せなさい」と言われただけです。10人は何もしてくれないイエス様にがっかりしたかもしれません。でも、その言葉を信じて、祭司のところへ出ていきました。

歩いていく途中、あれ？身体の調子が良くなっていく感じがしました。病気が治ったんです。10人のうち9人は、このまま祭司の所へ行つて病気が治った身体を見せてもらえば、元の生活に戻れる！と喜び、笑ひで祭司の所へ行きました。しかし、1人のサマリヤ人だけは、くると向きを変えて、もと来た道を通り出しました。サマリヤ人は神さまを賛美しながら戻つてくると、イエス様の足下にひれ伏して、感謝しました。その方の前では、これまで辛かった事、悲しかった事を隠さずに話すことができます。イエス様はサマリヤ人に言われました。「立ち上がって行きなさい。あなたの信仰があなたを救った！」

みなさんも、もし自分の罪に抱えている思いがあったら、このサマリヤ人のように、神さまにお話ししてみてください。神さまは、あなたのお話しを聞くのが大好きです。いつでもあつても、あなたがどこにいても、どんなことでも、あなたが何か言ってくれるのを待っておられるのです。何かすごいことをする必要はありません。ただただ神さまを心から信じて、苦しい時に神さまに悩みを打ち明け、うれしい時に神さまにありがとうを言おう、そんな生き方をする人に、神さまは「あなたは救われたよ」と喜んで言ってくださいませ。(お話 岩野敬人)